

みなみあそ ダイアリー

阿蘇郡市町村共同宣言を 提言しました



阿蘇郡市7市町村は、令和8年熊本地震を受け、8月27日、「被災地支援を最優先しながら、地域経済の活力を維持し、熊本の復旧・復興に力を尽くす」とこととした共同宣言を発表しました。

この宣言は、被害の少なかった地域が観光や交流、地域経済を継続すること、県全体の復旧・復興を後押しする大きな力になるという考えのもと、提言されたものです。

正確な情報発信により風評被害の抑制に努めるとともに、各市町村がそれぞれの役割を果たし、地域経済の活性化につなげていきます。引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願いします。



阿蘇郡市の7市町村長と阿蘇郡市選出県議

「みなモビ」の運行を開始しました！



9月1日、予約型乗合交通「みなモビ」の運行開始に伴い、役場正面玄関前駐車場で出発式が行われました。

式では、太田村長が「生活の基盤と観光の足として、『みなモビ』を村とともに育てていきます」と挨拶されました。今回、車両もリニューアルし、新たにラッピングされた2台が披露目されると、関係者からは大きな拍手が送られました。

式の最後には、村長をはじめ関係者と「みなモビ」の利用者が乗車体験を行い、フレイン高森店まで実際に乗車しました。これまでの乗合タクシーを継続的に利用し、みなモビの乗車を体験された宮崎けい子さん（一関）は、「スーパ―へ直接乗り入れができるようになったので、便利になりました。買い物後の荷物が多くなっても、安心して帰れるので助かります」と喜ばれていました。



フレイン高森店に乗り入れたみなモビ

みなみあそナイトマーケットを開催しています



道の駅あそ望の郷くぎの駐車場で、「南阿蘇村ナイトマーケット」が全5回の日程で開催されています。

このイベントは、昨年度、南阿蘇中学校の生徒による子ども議会で提案されたことをきっかけに行われているもので、村民の交流と地域のにぎわいづくりを目的としています。

8月28日の開催では約500人が来場し、10台のキッチンカーが出店した他、子ども向けのじゃんけん大会やクイズラリーなども行われ、大盛況となりました。

久木野小学校6年生の古澤龍弥さんは「屋台がたくさんあって、何を食べるか迷いました。楽しかったので、また来たいです」と話されました。

これまでに3回開催され、次回は10月9日（金）、23日（金）に開催予定です。



太田村長とじゃんけんをする子どもたち

いつまでもお元気に 百歳の表彰とお祝い



徳丸サツヨさん（一関）が百歳を迎えられ、表彰状とお祝いの品が贈呈されました。徳丸さんは大正15年8月生まれで、高森町のご出身です。若い頃からおしゃべりが好きで、洋服などにもこだわりを持たれていて、この日のお洋服もご自身で選ばれたそうです。今も身だしなみに気を配り、折り紙や塗り絵など、さまざまな趣味を楽しまれています。お祝いに駆け付けたご家族や村長からお祝いの品を受け取ると、何度も「ありがとう」と感謝の言葉を述べられました。息子さんは「これからも怪我なく、元気に長生きしてほしい」と話されました。



（写真左から）太田村長、徳丸サツヨさん、息子さん